

一般会計 672.5億円 全11会計総額 1,058.0億円

(前年度予算比+34.7億円)

(前年度予算比+44.6億円)

全11会計の総括質疑

5名の委員が29件の質疑を行いました。

Q 借入利率の上昇に伴い、中長期的及び短期的に市債償還や財政計画等に影響はないか。

A 近年の金利の上昇により、長期債利子償還金は、令和7年度当初予算の約2.9億円から、令和8年度当初予算では約4億円となり、約1.1億円の増加となっている。中期財政運営方針の財政見直しでは、借入の利率については、近年の上昇を見込み、固定20年の利率を2.1%と推計していたが、令和8年2月現在では、利率2.7%と急激に上昇している状況である。

また、短期的な影響については、現金の一時的な不足に伴い必要な一時借入の利率も上昇しているため、基金の現金を繰替運用するなど、影響を極力少なくする取り組みを引き続き行っていく。また、土地の先行取得を行っている土地開発公社においても、事業に必要な資金確保のため短期での借入を行っているが、より低い利率で借り入れることができるよう、借入期間の見直しなどを行っていく。

Q 持続的な財政運営のために、予算編成ではどのような事業見直しが行われたのか。

A ハード面では、総量の削減として、建物施設を計画的に解体することとし、令和8年度は全部で8施設の解体を実施する。

ソフト面では、事務費などの削減、縮減、事業の集約化、再構築、事業や事務の廃止など36件、一般財源ベースで約7,300万円の事業見直しを行っている。また、内部事務の効率化を進めるため、共通事務センターをスモールスタートすることとしており、内部事務の集中管理、集中処理をすることで効果が見込まれる物品調達管理や支払事務などから取り組んでいく予定である。その他、公共施設予約システムにおけるキャッシュレス決済の導入など、現金を取り扱わないことによる業務負担の軽減、電子システムの推進などによる窓口業務の効率化など、業務改革に取り組んでいく。

討論

※予算の議決結果は、14ページに記載

一般会計

反対 未来物流産業団地造成事業などの大型開発により、都市計画費が増大している。この負担を将来の子どもたちに対応させられない。

賛成 同事業は、本市の地理的優位性を最大限活用する重要施策であり、将来世代へ責任ある投資となる。

国民健康保険特別会計

反対 国民健康保険税の引き上げについては反対。被保険者負担が重すぎる。応能負担にすべきである。

賛成 財政健全化を維持しつつ、疾病予防と健康づくりを推進する内容であり、予算案に賛成。

予算審査を終えて

真剣な質疑と答弁を重ね、円滑な委員会運営ができ、討論も活発な予算審議となった。

予算特別委員長 高橋

460件にも及ぶ質疑による是々非々の審査となった。今後の予算執行も注視したい。

同副委員長 梅田